

今冬の越冬期調査

越冬期の野鳥調査、今冬は下記の要領で実施します。調査にご協力ください。

1. ミヤコドリの生息・行動の観察

ミヤコドリは大型のチドリの中なかで、かつては“珍鳥”として、バードウォッチャーの垂涎的として知られていましたが、最近では、東京湾(千葉県・東京都)に400羽以上が毎年越冬するのと、伊勢湾(三重県)にも100羽程度が越冬し、また全国各地で観察例が増えていきます。

昨年9月には、ロシアのカムチャツカで標識フラッグを付けられた若鳥が、東京湾と伊勢湾で各1羽観察され、その繁殖地がわかりました。〔くわしくは、本誌No.773をごらんください〕



ミヤコドリの群れ(三番瀬にて) 田中富夫氏撮影

東京湾で見つかった標識個体〔左脚に黄色と黒色のフラッグにT6と記されている〕は、この夏、40羽の個体群に混じって越夏し、この10月3日にも観察されました。ミヤコドリは、世界で4亜種が知られていて、日本やロシア・韓国・中国などに生息する極東の亜種は、全部で1万羽程度が生息していると推定されています。“1万羽”しかない希少な鳥ということで2017年からその動向を追っています。

東京湾でミヤコドリを見かけたら、数や観察場所をお知らせください。

【実施要領】

- (1) 調査対象地：東京湾全域 (2) 調査期間：12月～2月
(3) 調査事項：①個体数 ②観察場所 ③観察日時 ④行動などの観察・撮影

2. カモを中心とした個体数調査

【実施要領】 例年と同じです

- (1) 調査範囲：東京都内全域(島しょ・海上を含む)
(2) 調査期間：2021年1月2日(土)～1月17日(日)原則9時～15時
(3) 調査方法：カモが生息する場所で、カモ類および下記の水鳥10種〔※〕のカウントを実施。
余裕があれば同時に見られた鳥の種類と数。

※：カイツブリ・カワウ・ゴイサギ・ダイサギ・コサギ・アオサギ・バン・オオバン・ユリカモメ・カワセミ〔10種〕

ハクチョウ類・ガン類、コウノトリ、シギ・チドリ類にも注意してください

【1・2の連絡・データ送付先】

メール：office@yacho-tokyo.org Fax：03-5273-5142

郵送：〒160-0022 新宿区新宿5-18-16 新宿伊藤ビル3階 日本野鳥の会東京・研究部宛

葛西鳥類目録補遺について

研究部：鈴木弘行

当会では2014年に『葛西鳥類目録』を作成し、252種の鳥類を収録しました。その後、見落としした種や新たに確認された種等があったので、補遺として報告します。

補遺の記録の収集は鈴木弘行・中村忠昌・川原 章・川原光子・大原庄史が行いました。追加された種は19種あり、1995年4月から2020年3月の間に記録された鳥類は271種となりました。

ウズラ：数例の観察例がある。2018.4.8.雌1羽。鳥類園上の池周辺。

ヒシクイ：1例、2019.10. 4羽。

ツクシガモ：1例、2018.2.10. 1羽。東なぎさ。

メジロガモ：1例、2017.3.19. 雄1羽。鳥類園上の池。

アビ：冬鳥としてごく稀に観察される。2020.2.15. 1羽。2020.2.23. 3羽。

コウノトリ：2例、2014.10.12. 7羽鳥類園上空。2018.9.12. 1羽 東なぎさ。

クロサギ：1例、2017.4.16. 1羽。東西なぎさ間の水路のカキ礁上で観察された。

シロハラクイナ：1例、2004.6.20～26. 1羽。鳥類園上の池。

ヒメクイナ：2015.10.25.～11.10. 1羽。鳥類園上の池。

ヒクイナ：2014.11.30. 1羽が初記録。以降、観察例が増加、2019年6月に幼鳥確認。

ツルクイナ：1例、2019.11.14. 幼鳥1羽。汐風の広場付近。

オオジシギ：1例、2018.4.29. 1羽。鳥類園下の池。

コシャクシギ：1例、2015.4.23.～4.26. 1羽。西なぎさ。

オニアジサシ：数例の観察例が東なぎさ・西なぎさである。

2016.9.10～9.17. 2017.10.28. 2018.7.8～8.11. 2019年～2020年冬に越冬。各1羽。

ウミスズメ：1例、2015.6.7. 1羽。西なぎさ。

ムジセッカ：3例、2015.12.26.～2016.5.2. 2018.3.29. 2019.12.8.～2020.3. 各1羽。

オオムシクイ：旅鳥として春と秋にごく少数が観察される。渡りの時期が他種に比べ遅い傾向。

2018.5.26. 2羽。※以前はメボソムシクイの亜種コメボソムシクイとされていたが、日本鳥類目録第7版で別種として独立分離した種。

コホオアカ：1例、2018.10.4. 1羽。シーサイド江戸川裏の草地。

ズグロチャキンチョウ：1例、2014.2.9. 成鳥雄1羽。鳥類園。

外来種として、コブハクチョウ、カワラバト、ガビチョウ、カオジロガビチョウ、ソウシチョウを確認。

<オジロビタキとニシオジロビタキについて>

『葛西鳥類目録』にはオジロビタキ2002.9.22. 1羽を収録しています。2019年12月にニシオジロビタキが確認されました。以前、ニシオジロビタキはオジロビタキの亜種とされていましたが、近年は別種として扱われています。2002年の記録がどちらなのか確認できないため、オジロビタキを削除しニシオジロビタキを加えました。



ニシオジロビタキ：2019年12月

『葛西鳥類目録』の正式名は『葛西鳥類目録－葛西臨海公園・葛西海浜公園の鳥 1994年～2013年－』といい、A4判・20ページの小冊子で、300円＋送料で頒布しています。入手したい方は事務所にご連絡ください。